

2. 安全衛生診断と対策指導 ～リスクアセスメント手法を取り入れて診断～

1. 危険有害要因の洗い出し
～どこに・どんな危険・有害要因があるかの洞察力～
2. 危険有害要因のリスクを評価
(1)ケガの可能性 (2)ケガの程度
(3)危険有害要因へ接近の頻度
3. 危険有害要因の低減対策
(1)機械設備等の改善(防護措置等)
環境条件改善(換気設備, 照明, 温度等)
(2)作業方法(保護具も含む)の改善
(3)教育指導, 安全衛生注意表示等の改善
(4)その他の低減する対策

- (4) 合計評価点数 (危険度の数値化)
合計点数 = (1) + (2) + (3)

(5) リスクレベル

レベルⅣ (超高度の危険) 受け入れ不可能なリスク	14点以上
レベルⅢ (高度の危険) 低減対策を必要とするリスク	10～13
レベルⅡ (中度の危険) 低減対策に努めるリスク	7～9
レベルⅠ (低度の危険) 許容可能なリスク	3～6

レベルⅢ以上を優先的に改善する

リスク評価点数

(1) ケガの可能性の評価点数

可能性が高い (大)	6点
可能性がある (中)	3
可能性が低い (小)	1

(2) ケガの程度の評価点数

死亡災害の危険性がある (大)	12点
休業1月以上の災害, 障害が残る災害 (手指の切断等)	8
1月未満の休業災害 (中)	5
通院治療の不休災害	3
応急手当ですむ赤チン災害 (小)	1

(3) 危険有害要因へ接近の頻度の評価点数

日単位で作業がある程度 (大)	4点
週単位で作業がある程度 (中)	2
月から年単位で作業がある程度 (小)	1

踏み台への上り下り どんなリスクが, リスク点は, 対策は

